

高木会長 想つてはいた以上に忙しい、というが率直な感想です。東京協会の会長に就く1年前に、日本ビルディング協会連合会の会長に就任しましたが、全国19協会の連合体である連合会の会長としての仕事もさることながら、東京協会では単体としての協会の活動に加え、連合会の中核協会としての活動もあり、大変だということを痛感しました。裏を返せば、それだけ東京協会の活動が活発だということの現われだとうれしく思っています。

高木会長 協会活動についての印象は、協会内に設けられている総務委員会、財務委員会、管理委員会、税制・企業経営委員会、都市政策委員会、地球環境委員会、中小ビル事業委員会、組織・広報活動委員会、国際委員会の9委員会が適宜開催され、会員が積極的に参加され、協会活動を支えて機能的に動いていることに感心します。

ビル業界を取り巻く 環境の変化に対応

ビル業界や経済を支える ビルの機能向上を

高木会長 今年の協会活動の抱負やお考えを教えてください。

高木会長 オフィスビルを巡っては、安全・安心、地球環境問題といった側面から、耐震性能、防災性能、省エネ性能などオフィスビルの性能や機能の向上が大きな課題となっています。こうした課題に對しては、その課題に該当する委員会を中心検討し、対応していくことを考えています。

高木会長 協会の課題は、ほかにもありますか。

高木会長 ビル協会は大手ビル会社から中小ビルオーナーで構成されていることが他の不動産業界団体との違いであります。大きな特徴です。東京協会の中小ビル事業委員会は、研究会として発足した2002年以来、「中小ビルの経営者ができる地球温暖化対策」の事業継続計画作成支援ツールなど様々な成果物を提供し、全国の協会を牽引してきています。これからも、中

小ビル事業委員会をはじめ、その他の委員会が連携し、大手から中小までのビルオーナーに役立つ情報等の発信に努めています。

たとえば、環境面では4月1日から施行される、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に対応していくほか、日本経團が「低炭素社

会」が実行計画の数値目標を抜本的に見直します。こうした動きに合わせ、ビル協会の数値目標についても再検討することにしています。また、この通常国会で審議される民法改正の動きに合わせ、民法改正がビル事業に及ぼす影響の検討とともに民法改正を反映した減速懸念をはじめ日本経済を取り巻く環境には先行き不透明感があります。こうした不安定要因を抱える経済の持

高木会長 今年は申年ですが、まだ参加はしていませんが、会員ニーズに応える協会活動をしっかりとやっているなど感じた次第です。

高木会長 今年は、日本経済やオフィス市況がどのように推移するとみていますか。

高木会長 まだ、会員との交流と親交を深めるために行っている懇親ゴルフ会には昨年春と秋の2回参加しました。普段なかなか会えない会員の方々とゆづくり話が出来、親交を深める貴重な機会だと痛感しました。このほかの活動の中でも、会員の関心の高い、話題の新築オフィスビルを見学する会員限定の見学会を開催していると聞いています。まだ参加はしていませんが、会員ニーズに応える協会活動をしっかりとやっているなど感じた次第です。

高木会長 会員ニーズに対応した

情報発信等に努める

高木会長 東京が注目されます。



重要な成長の確保と、地方創生の推進が重要になつてくると感じています。

オフィスビル市場については、企業収益の改善に伴い、テナントの前向きな統合移転や拡張移転ニーズが顕在化始め、空室率の改善傾向が進んでいます。また賃料についても都心部のビルを中心に回復上昇トレンドが継続しています。今年はその流れを確実なものになりたいと思います。

大きなターニングポイントとなる出来事が起きた年でもあります。

ビル業界を取り巻く環境の変化に適切かつ迅速に対応できるよう、常に緊張感をもつて、協会活動に取り組んでいきたいと思います。



新春特別企画・高木茂会長インタビュー

2016年 新春にあたって

—業界展望と今後の協会活動—



一般社団法人東京ビルディング協会 会長
高木 茂

CONTENTS

新春特別企画・
高木茂会長インタビュー
2016年新春にあたって

東京ビルディング協会
協会会員マークを制定

ビル経営動向調査
(平成27年10月分)

ベトナム
(ハノイ及びホーチミン市)
研修視察報告

第80回東西合同管理・
技術委員会報告

理事会・委員会報告

ビルキヨウサロン
東京都の中小事業者向けの
省エネ支援策

kenesの
ユーティリティサービスの
ご提案

中小規模オフィスビルの
空調ニーズに応える
セル型空調システム

インナーガラス『トロボス』
による窓際での
暑い・寒いをなくすご提案

平成27年度 新会員紹介

協会トピックス

表紙写真／新年あけましておめでとうございます。早いもので、本誌の編集に携わって5年が経過しようとしています。これからも、会員の皆様のお役にたつ情報の提供に努めますので、よろしくお願いいたします。

(写真／文.T.ARAI)

協会の特徴を活かした 活動展開へ